

ミニバレー大会 お疲れ様でした

入梅直後は雨が降らずに農作物等への影響を心配していましたが、ようやく梅雨らしい天気が続くようになりました。今度は梅雨明けがいつなのかが気になります。

さて、6月4日(日)、PTA主催のミニバレー大会が開催されました。お父さん、お母さんがたのハッスルプレーが随所にみられました。学年の保護者の親睦が深められたようでした。心配していたけ



がもなく、楽しい時間を過ごすことができました。企画、運営をして下さった環境・保体部の皆さんありがとうございました。優勝した2年生、5年生チーム、おめでとうございます。

読み聞かせでお世話になっています

今年も毎週、火曜日と金曜日、読み聞かせボランティアグループ「いちよう」の方々が交代で読み聞かせに来て下さいます。子ども達も毎回、この時間を楽しみにしているようです。中には、お仕事に行く前の、貴重な時間において頂いている方もいらっしゃると思います。ありがとうございます。お世話になっている7名の方を紹介します。



三木 正さん(竹田)



林 郁代さん(森永)



高橋 紘子さん(森永)



鬼塚 恵子さん(森永)



左から
藤川 長久さん(森永)
後藤奈保子さん(竹田)
日高 国博さん(森永)

7名の皆さん、いつもありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

非行防止教室を実施しました

子どもたちが善悪の判断力を身につけることは将来に大きく影響しますので大切な内容だと考えます。警察の方に来校して頂き、非行防止教室の実施しました。

3・4年生は、商店でのお菓子の万引きや、自転車の不当取得を例にして、「窃盗」は犯罪であること、善悪を判断する力を身につけ、正しい行動が取れるようにしよう、という内容でした。

5年生は情報モラルをテーマとして、パソコンやスマートホンの間違った取り扱いから発生するネットトラブルの事案が続発していること、情報機器の正しく安全な使い方が大切だということ学びました。



7・8月主な行事予定

7月

- 2日(日) クリーン国富 7:00～
- 3日(金) 小中合同あいさつ運動
愛の一声あいさつ運動
- 4日(火) 地区別懇談会、心肺蘇生法講習会
- 5日(水) 食育集会
- 6日(木) 代表委員会
- 8日(土) 6年思い出キャンプ
- 12日(水) 善行児童表彰集会
- 13日(木) 着衣泳指導
- 17日(月) 海の日(祝日)
- 18・19日 個別面談(希望者)
- 21日(金) 1学期終業の日
- 24日(月) 初心者水泳教室
- 25日(火) 郡水泳教室(5・6年)
- 27日(木) 初心者水泳教室
- 31日(月) 登校日
サマースクール

8月

- 21日(月) 登校日
サマースクール
- 27日(日) 第2回愛校作業(森永A、飯盛、須志田、1回目不参加者)



歯の治療について

23日付けの「ほけんだより」でもお知らせしましたが、歯科検診での治療勧告者の病院受診率は6/15現在で22.9%のことです。7月から町では外来医療費助成制度が実施されるようですのでこの機会に治療を進めて下さい。

ご家庭での丁寧な歯磨きの声かけとあわせて、取組をよろしくお願いします。

5年生が 田植え体験を行いました。

5年生が、総合的な学習の時間に毎年行っている田植え体験学習を15日に行いました。向高の陶山さんの水田の一部をお借りしました。当日は、JA宮崎中央 森永支部青年部の皆さんに指導をして頂きました。水田の提供、田植え準備、そして田植えの指導、これからも水田の管理等で継続してお世話になります。宜しくお願いします。子どもたちの感想を紹介します。

楽しかった田植え

赤木 華那

六月十五日に向高の田んぼで田植えをしました。行きながら「別にそんなにつかれないだろう」と思いながら行きました。田んぼに着いて田植え開始です。足をすく取られて進むのに一苦労です。後ろに進んでいたのだからある足あとを消していくのがバランスがくずれて難しかったです。JAの方たちに教えてもらったことが二つありました。一つ目は、「植える時は、苗を三・四本ずつ植えてね」と教えてもらいました。進むにつれて三・四本ずつ植えるという感覚をどんどんつかんできました。二つ目は「ジャンボタニシが田んぼの中にいるからそれを取って逃がしてね」と教わりました。

～ 中略 ～

私は始める前に「あまりつかれないだろう」というあまり気持ちでしたがかなりつかれました。でもがんばったから苦労ができたんだと思います。いろいろ教えてもらって、いろいろ学んできても楽しかったです。これから、いねを見守っていききたいと思います。

「さすが宮崎の米はおいしい」と言われるくらい、これらをがんばって育てていきたいです。そして自分でも放課後などに様子を見に行きたいです。



土まみれのしろかきと田植え

青野 怜

「ズボツ」向高の田んぼでしろかきと田植えをしました。ぼくはしろかきで学んだことが一つあります。それは、ひりょうをまんべんなくまくことです。まいていなかったら、イネがよく育たないと聞いていたので、まんべんなくいねにまきました。

次に田植えで学んだことが四つあります。一つ目は、赤い玉に合わせて植えないと、一つ一つのいねが元氣よく育たないということです。

地面の中で一つ一つが、えいようをとったりあつたりするから、ちようどいい赤い玉のすきまに合わせて植えました。



二つ目は植える最中で、土はていこうがあつて、くつではあまり速く歩くことができないと思っていました。とちゅうで先生が、「くつをぬいてもいいよ」と言つて、かた方だけぬいてみたら、とても楽に進めることがわかりました。

～ 中略 ～

ぼくは、土のかんしょくにも気がつきました。浅ければ浅いほど、太陽のあつさで土があたたかいです。深い所は、土がかたくなっていました。

ぼくは田植えをしていて、はだしでした方が土のていこうがなく、早く歩けました。これからは、イネがよりよく成長するために、家に帰った後も見に行みたいですね。

初めての田植え

夏目 樹

向高の田んぼで田植えをしました。田植えをする前は、ものすごく楽しみでわくわくして行きました。田んぼに着くと、よごれてもいいくつにはきかえてあいさつをしました。そして説明を聞きました。

説明では、苗は二、三本ずつ取って土にさすということと、足あととは手で消して植えていくことを教えてもらいました。説明が終わったら、田植えを始めました。くつだったけど、後からはだしになりました。くつをぬいだ時の土の感じはよくは、ヌルヌルしていました。土は、温かい所、浅い所、深い所、水が多い所、少ない所などがありました。

そして田んぼの中には、土や、水以外に、石やジャンボタニシ、ヒルなど色々な生物もいました。田植えをしていると、必ず苗はなくなりません。苗がなくなると、田んぼの外にいる人が苗を投げてくれます。だから、一回一回外まで取りに行かなくても大丈夫です。

～ 中略 ～

苗のかたまりを外の人から投げもらう時に取れないと、びちゃっと服につきました。一番かかるのは、水の多い所で取れなかった時です。田んぼの土は、ふつうの土とちがって取れにくい土です。足やくつなどは、田んぼの横にある用水路であらいました。

田植えをしてからの感想は、足が土に入ったら取りにくくて大変でした。でもみんなをやったから早く終わったので、みんながいて良かったです。

